

この度は、最優秀賞という名誉ある賞をいただき、大変喜ばしく、光栄に存じます。

少子高齢化が急速に進行する中、本市では、高齢者が地域を支える側として活動、活躍するとともに、支えが必要になってもその人らしく、いきいきと暮らせるまちづくりを目指し、2011年に、日本で初めて世界保健機関（WHO）が設立したエイジフレンドリーシティグローバルネットワークに参加し、高齢者にやさしい都市の実現に取り組んでまいりました。

本計画は、WHOが示す都市環境に関する8つのトピックに基づいて、本市の実情に合わせた目標を設定しているほか、計画の対象として、サービスの拡充やコミュニティ活動のプロモーション、高齢者の社会参加の促進などを含んでいるところに特徴があります。

また、計画の策定や評価に当たっては、きめ細かなアセスメントの実施やワークショップの開催、関係各課の連携等を通じて、幅広い年代、多様な立場の皆様からご協力をいただきました。計画に関わる全ての方々にとって、今回の受賞は大きな励みになると感じております。

今後は、行政・市民・民間の三者連携による取組をさらに強化しながら、エイジフレンドリーシティのより一層の推進に向けて取り組んでまいります。

秋田市長 穂積 志